

東京ホッケー協会定時総会議事録

日 時： 平成 29 年 4 月 22 日（土）午前 10 時 00 分～午前 12 時 05 分

場 所： 中目黒スクエア中目黒住区センター2F 第 5 会議室

総正会員数： 56

出席正会員数：55（議決権行使者出席 26、代理人出席 29(委任状 3 を含む)）

出席人数：52 名（議決権行使者・代理人 47 名、理事・監事 3 名、来賓他 5 名）

議事：

定時総会は志木クラブ（菅野芳哉氏）を仮議長として定刻に開会した。

議長選任

仮議長は本総会が規約第 16 条の定足数を満たしたことを報告し、当会規約第 15 条に従い、議長選任を議場に諮ったところ、全員異議無く、志木クラブ（菅野芳哉氏）が議長に選任された。

議事録署名人選出

議長は規約第 20 条に従い議事録署名人に明治大学（宮田知氏）、メトロ東京（長谷川慧氏）を指名し、異議無く承認された。

監事監査意見

続いて議長は議案の審議に先立ち、監事に監査意見を求めたところ、箸本監事は両監事の意見は一致しているとして、次の通り監査報告を述べた。

平成 28 年度の会長以下、理事の業務執行、ならびに平成 28 年度決算に関して法令及び規約に違反する事実、若しくは著しく不当な事実はございませんでした。

（承認事項）

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに平成 28 年度決算承認の件

和田明仁会長は平成 28 年度事業報告と決算承認を求めるにあたり、報告事項である第 4 号議案である平成 29 年度事業計画の一部と平成 29 年度予算を併せて説明した方が分かり易いと思うので一括して説明したいとして、第 1 号議案に加え、第 4 号議案の一部を説明した。なお和田会長は事業関係の詳細説明を担当理事に委ね、決算及び予算については鍋田茂子理事から説明を行った。

和田会長は最後に報告事項である第 5 号議案のその他として法人化に触れ、昨年の総会で法人化の方向性は承認されており、法人化のメリット・デメリット、また法人種別についても検討を加えるとともに「一般社団法人 THA」との一体化の可能性も探ってまいりますと述べ、議場に活発な意見を求めて、説明を終えた。

議長が議場に質問等を求めたところ、FHMC 増田氏より、決算書の次年度繰越金のうち未回収金、未払い金の内訳について質問があり、鍋田理事より未回収金は

大田区からの体験教室受託費の入金の一月繰延、未払金は都体育協会五輪候補選手強化事業の精算遅延、及び HP 保守契約等の支払の一月繰越であるとの説明があった。BraveFox 平田氏よりジャッジ講習と国体活動の日程重複について質問があり、三宅理事より THA も幸い多くのイベントを抱えるようになり、調整を加えても重複は避けられない状況であるとの説明があった。

議長は、本件を総会に諮り、出席 55 正会員全員の賛成を得て本件は承認された。

第 2 号議案 THA 規約の一部改定の件

議長より本議案が本会規約第 18 条 2 項の正会員数の 3 分の 2 以上の多数をもって承認されることを述べ、議案の説明を行なった。

改定内容は、「附則 東京ホッケー協会理事負担金に関し、役職に関わらず一律 10,000 円とする」を削除するというもので、決算説明からご理解いただけるように、東京ホッケー協会の財政面での不安は低減したものと考えて、また「開かれた協会」を標榜する本協会の意向と合致させ、理事就任への金銭面でのハードルを解消するためであるという説明が加えられた。

議長は、本件を総会に諮ったところ、正会員 56 個の 3 分の 2 にあたる 38 個を超える 48 個の賛成があり、本件は提案通り承認された。

第 3 号議案 JHA 正会員選任の件

議長は、日本ホッケー協会（以降 JHA という）「正会員」定数について説明し、本年度本協会に割り当てられる定数 7 名の選任を諮りたいと述べた。

和田会長は、理事会として、JHA 正会員に和田・一川・正田・青木・菅野・林・三宅の 7 名を候補として推薦したいと述べた。

議長は、本件を総会に諮り、出席 55 正会員全員の承認を得た。

（議長は審議事項の全てが終了したとして、5 分間の休憩を宣し、11 時 15 分に再開した。）

（報告事項）

和田会長より残された時間を第 4 号議案の説明で残した THA の長期構想及びそれに関連する東京五輪 2020 への取組み及び競技施設である「大井ホッケー場」の後利用、それに先立つ今秋からの駒沢第 1 球技場の使用について担当理事、来賓の安西 JHA 常務理事、下平駒沢委員会委員より説明させたいと述べた。

THA 長期構想については第 3 回連絡会でも既に説明しているとして、その背景となり、また前提ともなる東京五輪 2020 ホッケー競技実施に向けた取組み状況、駒沢第 1 球技場の活用に関わる企画検討状況についてそれぞれ詳細な説明があった。

議場からは、学芸大附属高校の大谷氏より駒沢の利用方法、駒沢で少年チームの立ち上げる予定の有無について質問があり、三宅理事より駒沢の土日利用は各種競技団体の優先使用枠でほぼ満杯、平日はインターネット申込みで先着順なので事前ID、パスワードの取得が必要であるとの説明があった。審本監事よりメトロ東京の少年チームの活動について質問があり、メトロ東京の前田氏より品川 2020 チームの紹介と今後の活動予定の説明があった。一橋クラブの竹内氏から駒沢球技場への3,000人動員の具体策について質問があり、下平委員より現状の考え方を説明し、併せて動員依頼があった。

以上をもってほぼ議論は尽くしたとして、議長は、閉会を宣言し、午前12時05分閉会した。

上記決議を確認するため、本議事録が作成され、議長及び議事録署名人が署名捺印した。

平成29年4月22日
東京ホッケー協会

議長
菅野 芳哉

菅野 芳哉 

議事録署名人
宮田 知

宮田 知 

議事録署名人
長谷川 慧

長谷川 慧 

平成 29 年 4 月 22 日東京ホッケー協会定時総会 議案

【決議事項】

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告並びに平成 28 年度決算承認

1. 事業報告

(期初の目標)

「新生東京ホッケー協会」は「規約に則り、全員参加で、開かれた協会とする！」という会員の皆様の総意の下に、平成 28 年度は過大な計画は立てず、次の 3 項目を確実に実施する事を目標に掲げ、初めて 1 年を通じた事業運営を行ないました。

1. 登録チームを増やし、各チームとの連携を確立する(登録システムの徹底)
2. JHA、東京都、都体協、品川区、大田区等と連携しホッケーの普及を図る
3. THA 主催、共催の競技大会の確実な運営を行う

(THA 登録について)

まず、正会員数が平成 27 年の 41 から 11 増え、52 と大台に乗ったことで、運営基盤は比較的安定しました。

協会の運営状況を広く会員の皆様に知っていただき、事業に参画していただくため、ホームページ (HP) を開設し、HP 上に理事会の議事録など、基本的に THA の全ての活動を掲載し、文字通り開かれた協会とするべく努力しました。また期中に 2 回の THA 連絡会を開催し、THA の活動状況を報告し、会員の皆様に参加していただける協会を目指しました。お陰様で、委員 (企画スタッフ、当日スタッフ) の募集に対しても 40 名を超える方々に応募をいただきましたが、まだまだ委員の皆様全員に活躍できる場を提供できていないことは執行部の力不足と反省しております。

(国体強化について)

都体育協会からは東京都を代表するホッケー競技団体として認められ、分担金の交付を受け、国体強化、ジュニア育成事業等を実施しました。

国体強化については、広く選手を公募し、予選会 (選考会) を実施して選手選考を行い、練習会を経て関東ブロック大会に臨みました。結果はすべての種別で本選出場は叶わず、成年男女は早期にチーム作りを開始する事、少年男女はまずチームの底上げを図る事が課題となりました。

これを受けて少年男女については国体後から都高体連ホッケー専門部会の先生方と相談し、ジュニア特別事業として、年度末にかけてホッケークリニックやウィンターリーグを実施しました。ホッケークリニックでは女子は日本リーグのグラクソ・チーム、男子は東京ガスや明治大学から指導を受けました。併せてアスレチック・トレーナーを招く、アンチ・ドーピング講習を実施するなど新しい試みを行ないました。

(普及活動について)

普及活動は、THA 主催事業として「ジュニア・ホッケー教室」を都体協の「ジュニア育成地域推進事業」交付金で実施しました。「ジュニア教室」は東大駒場グラウンドを利用して7年目を迎える事業ですが、毎年参加人数は増えており、今年度は延べ800人近い受講者があり、指導者・ボランティアを加えると1,100人を超える規模となりました。

一方、五輪関連事業は、品川・大田区等からの委託を受け、「体験ホッケー教室」を小・中学校の授業の一環として、またスポーツ祭りのイベントとして、約30回実施しました。指導にあたっては、「メトロ東京」「桜杖会」等の皆さん、藤尾香織選手をはじめ、「さくらジャパン」のメンバーの方々のご協力を得ました。これら「ジュニア教室」「体験ホッケー教室」に参加の子供たちにホッケーが根付くようにする事が今後の課題であると考えています。

(大会運営について)

「THA 主催、共催の競技大会の確実な運営を行う」という目標を掲げましたが、ホッケー界の仕組みとして、公式戦は全国競技団体又はその下部団体が主催するため、今年度、THA 主催の公式戦はありませんでした。しかし大会運営において競技役員は都道府県協会から依頼する必要があり、東京で開催するにはその絶対数が不足している事は否めません。

そこで、競技役員の育成を図るため、国立七大学リーグ戦（通称「七帝戦」）を利用してジャッジ講習会を開催するなどしました。その結果、競技役員（審判を含む）の総数は転勤等により数名が抜けましたが、合計では47名から56名に増員を図る事が出来ました。

平成28年度末から非公式に開催され、今年からTHAの活動として実施した大会に「シニア&レディース大会」があります。40歳以上の男性、年齢を問わず女性の自由な参加を求めた大会で、1月の大会では約120名が集まり大盛況でした。

(東京五輪に向けての取組み)

東京五輪に向けては、JHAと協同して東京都オリンピック・パラリンピック準備局との面談を開始しました。具体的なテーマとして、①駒沢公園第1球技場の人工芝化他、②大井ホッケー場の後利用、③東京都認定アスリートの推薦、があります。

東京都認定アスリートとして明治大学の谷光未有選手、早稲田大学の南有紗選手を推薦し、認定され、都体協からの交付金で支援を行いました。谷光選手はジョホールバルカップ、ジュニアワールドカップに出場するなどの活躍をし、H29年度からはJOC指定選手として期待されています。

2. 決算承認

決算については監事監査を受けた決算書を次ページに掲載しました。

東京ホッケー協会 平成28年度決算

2017年 3月 31日
東京ホッケー協会

※印は、新設項目

収入の部		支出の部	
前年度繰越収支差額	72,111		
現金	10,630		
預金	196,000		
未回収金	100,000		
未払金	-87,519		
預り金			
競技役員登録料当期39人	-146,000		
競技役員登録料翌期分	-1,000		
登録料	5,532,000	日本ホッケー協会登録料	4,118,000
JHAチーム登録料	3,779,000	チーム登録料	3,779,000
THA正会員登録料 (チーム数)	1,560,000	競技役員登録料・当期分	153,000
高校6/大学26/社会人17		競技役員登録料・翌期分	186,000
マスターズ2/個人3		所属協会会費	600,000
競技役員登録料当期2人	7,000	日本ホッケー協会	300,000
競技役員登録料翌期52人	186,000	関東ホッケー協会	70,000
		都体育協会加盟団体分担金	100,000
		都体育協会協賛寄付金	130,000
JHA補助金	20,000	JHA補助金事業費	18,000
普及活動補助金	20,000	品川区ジュニア教室	18,000
JHA審判部事務代行	61,600	JHA審判部事務代行費	59,408
競技役員セーター代	61,600	セーター送料・送金手数料	59,408
東京都体育協会事業交付金	8,495,300	東京都体育協会事業経費	9,127,582
国体予選会	110,000	国体予選会	114,515
競技力向上(国体候補選手)	1,652,000	競技力向上(国体候補選手)	1,720,756
競技力向上(ジュニア特別)	2,500,000	競技力向上(ジュニア特別)	2,617,005
ジュニア育成地域推進	1,500,000	ジュニア育成地域推進	1,668,606
関東ブロック大会派遣費	2,133,300	関東ブロック大会派遣費	
		監督・選手旅費	2,133,300
		参加費・保険・弁当他	273,400
五輪候補強化事業	600,000	五輪候補強化事業	600,000
自主事業	40,000	自主事業費	38,922
ジャッジ講習会	21,000	ジャッジ講習会	19,922
地域教室出張事業	19,000	地域教室出張事業費	19,000
シニア&レディース	-	シニア&レディース※1	-
受託事業	2,033,000	受託事業経費	1,262,356
五輪関係事業	2,033,000	指導員労務費	1,120,500
		消耗品費	99,372
		運営管理経費	42,484
役員負担金	100,000	本部経費	685,802
理事負担金	100,000	交通費	109,488
		会議費	38,140
		借損料	0
		名刺広告費	0
		事務用品費	6,569
		通信費	35,650
		運送費	0
		福利厚生費	0
		ホームページ運営費	356,400
		ホームページ初期開発費当期償還※2	114,943
		雑費	24,612
雑収入	1,099,871		
寄付	1,099,505		
預金利息等	366		
収入計	17,453,882	支出計	15,910,070
(うち未回収金192,000 円)		(うち未払金641,947 円)	
		次期繰越収支差額	1,543,812
		現金	96,439
		預金	1,889,720
		未回収金	192,000
		前払い金	7,600
		未払い金	-641,947
合計	17,453,882	合計	17,453,882

※1シニア&レディースは参加者負担運営の為収支なし
※2ホームページ初期開発費573,210円は60回分割払い

平成28年度 会計監査報告

上記のとおり相違ありません。

2017年4月/8日

2017年4月/8日

署名 明雄

署名 文彦

第2号議案 THA 規約の一部改定

決算説明からご理解いただけるように、THA の財政面での不安は低減したものと考えて、「開かれた協会」を標榜する本協会の意向と合致させ、理事への就任への金銭面でのハードルを解消するため、役員負担金に係る付則を抹消したいと考え、以下の THA 規約の一部改定を提案いたします。

新	旧
右記付則を抹消する。	付則 東京協会役員負担金 本会の理事は、年間 10,000 円の理事負担金を毎年 6 月 30 日までに協会に納付する。 この付則は平成 28 年 4 月 1 日より実施する。

第3号議案 JHA 正会員選任 (6月10日土曜JHA総会)

JHA 定款では、「各都道府県別の正会員数は、その団体に所属する本協会登録チーム数を 8 で除した商を 1 正会員とする。ただし、小数点以下については繰り上げる。」とあります。

また、THA 規約では、JHA 正会員は総会で選任する事となっています。

冒頭、事業報告でもご説明しましたが H28 年度 THA 登録チーム数は 52 チームであることから、本総会で 7 名の正会員を選出する事になります。

THA 理事会は、理事の中から、以下の 7 名を JHA 正会員候補者として提案いたします。

候補者氏名	THA における役職及び担当	THA 正会員名
和田 明仁	会長	早稲田大学男子
一川 邦彦	副会長、事務局長、普及・広報担当	東京大学学士クラブ
正田 実	副会長、五輪関連担当	三田クラブ
青木 剛	理事、総務担当	一橋マスターズ
菅野 芳哉	理事、事務局、総務担当	志木クラブ
林 正巳	理事、強化担当	東京ガス
三宅 正美	理事、普及・広報担当	成城学園大学女子

【報告事項】

第4号議案 平成29年度事業計画及び平成29年度予算

1. 平成29年度事業計画

平成29年度は①東京の競技人口を増やす（する人）、②東京で大きな大会を開催する（支える人）、③東京のチームを強化する（観る人）の3本の柱で、事業を進めていきたいと考えています。

東京の競技人口を増やす事は、東京五輪2020のレガシーとして大井ホッケー場を残すためにも必須の課題です。大学OB/OG、特にシニア層、女性陣に呼びかけ、交流戦を行なう等、「生涯スポーツ」としてのホッケーの確立を目指します。ジュニア（小・中学生）への普及活動も積極的に進めておりますが、これをさらに発展させ東京にジュニア・チームを結成したいと考えています。他府県大学・高校でのホッケー経験者を発掘することも何とか工夫したいものです。昨年度から高校生向けのホッケークリニックを始めておりますが、更に充実したものにし、高校生が大学に入ってもホッケーを続け易い環境を作ります。

東京で大きな大会を開催し、多くの観客を集めることも、東京五輪2020のレガシーに繋がる大きなテーマです。秋からは改装なった駒沢第1球技場の使用が開始され、日本リーグ、関東学生リーグ戦等が開催されます。12月17日に予定されている日本リーグ男子決勝戦では、3,000人収容の駒沢第1球技場を、満席にしたいと考えています。東京に全国規模の大会運営のノウハウを持つ人を育てることも一朝一夕には出来ない事なので、将来を見据えて今からしっかりやって行くつもりです。

東京のチームを強化するというテーマは、国体チームが強くなるのは勿論ですが、多くの都民の皆様から応援されるチームに成長して欲しいという事です。国体チームのユニフォームもかなり老朽化してきており、平成29年度には更新する予定です。袖を通す選手も東京都の代表としての自覚を持ち、経費負担をして下さるTHA会員の皆様にも、国体チームの応援をよろしく願います。国体チームの練習日もHPで公開してまいります。

ゆくゆくは東京の国体チームが日本リーグに参戦し、多くのサポーターの応援を得て満員の
大井ホッケー場でプレーする事を夢見ています。

2. 平成29年度予算

平成29年度予算は次ページ掲載の通りで、まだ未確定の部分もありますが、変更ある毎に理事会に諮って進めて参ります。

第5号議案 その他

昨年の総会で法人化の方向性は承認されており、法人化のメリット、デメリット、また法人種別についても検討を加えて参ります。併行して「一般社団法人THA」との接触を続け、一体化の可能性も探ってまいります。

平成29年度予算書

2017年 4月 14日
東京ホッケー協会

収入の部		支出の部	
前年度繰越収支差額	1,543,812		
前期繰越	1,986,159		
未回収金	192,000		
前払い金	7,600		
未払い金	-641,947		
登録料	5,843,000	日本ホッケー協会登録料	4,190,000
日本協会チーム登録料	4,000,000	チーム	4,000,000
日本協会審判員登録料	3,000	審判員	190,000
東京協会登録料	1,650,000	所属協会会費	650,000
55チーム×30000		日本ホッケー協会	350,000
社人21・大学26		関東ホッケー協会	70,000
高校6・マスターズ2		東京都体育協加盟団体分担金	100,000
競技役員登録料	190,000	東京都体育協会協賛寄付金	130,000
JHA補助金事業	20,000	JHA補助金事業費	20,000
JHA審判部業務代行	60,000	JHA審判部業務代行	60,000
大会運営費※1	—	大会運営・負担金	—
東京都体育協会事業交付金	8,175,000	東京都体育協会事業経費	8,738,400
国体予選会	110,000	国体予選会	120,000
競技力向上(国体候補選手)	1,465,000	競技力向上(国体候補選手)	1,515,000
競技力向上(ジュニア特別)	2,500,000	競技力向上(ジュニア特別)	2,600,000
ジュニア育成地域推進	1,500,000	ジュニア育成地域推進	1,630,000
関東ブロック大会派遣費	2,000,000	関東ブロック大会派遣	2,000,000
五輪候補強化事業	600,000	同上(参加費・保険・弁当)	273,400
五輪候補強化事業	600,000	五輪候補強化事業	600,000
自主事業	110,000	自主事業費	110,000
ジャッジ講習会	50,000	ジャッジ講習会	50,000
地域教室出張事業	60,000	地域教室出張事業費	60,000
シニア&レディース	—	シニア&レディース	—
受託事業	2,300,000	受託事業経費	1,830,000
五輪関係事業	2,000,000	労務費	1,500,000
その他	300,000	消耗品費	150,000
		運営管理経費	60,000
		租税公課	120,000
		本部経費	1,093,366
		交通費	120,000
		会議費	50,000
		借損料	10,000
		事務用品費	20,000
		通信費	50,000
		運送費	20,000
		ホームページ運営費	388,800
		ホームページ初期開発費当期償還	114,566
		雑費	40,000
		事務委託費	80,000
		予備費	200,000
雑収入	600,500	特別支出	638,400
寄付	600,000	成年男子ユニフォーム1セット	299,200
預金利息等	500	成年女子ユニフォーム1セット	339,200
収入計	18,652,312	支出計	17,330,166
		次期繰越収支差額	1,322,146
合計	18,652,312	合計	18,652,312

※1 JHA主催大会、日本リーグ等 詳細未定

以上

2017年度 強化に向けた取組み

1. 基本方針

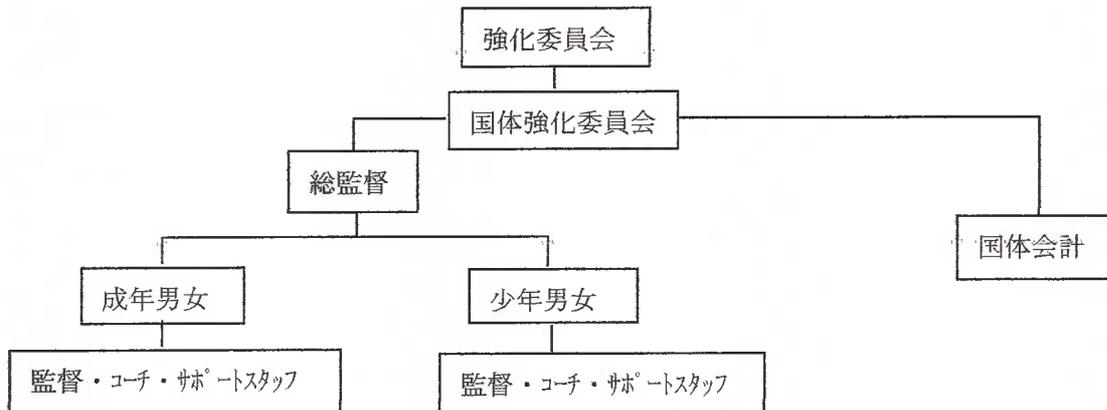
- 2020年の東京オリンピックを見据え、「強い東京」となるチームづくりを構築する。
- 成年男女チームは、関東予選ブロックを勝ち抜き、国体本戦を狙うことが可能な体制（選手・スタッフともに）を構築する。
- 少年男女チームは、技術力・チーム力の向上させる体制を構築する。
- 「強い東京」となるチームが、ホッケー界の発展のための活動を展開する。

2. 国体に向けた方針

- 2016年度と同様にTHA強化委員会の下部組織として、国体本戦への出場を目指す「国体強化委員会」を設置する。
- 「国体強化委員会」の「国体強化委員」は、「THA強化委員会」において選出する。
- 「監督」は「国体強化委員会」が、これまでのホッケーに関わる総合的な評価を勘案し、「監督」を任命する。
- 「コーチ」は、「監督」の推薦により、「国体強化委員会」が承認する。
- 「国体候補選手」は、選考会を実施しうえ、その結果により「監督・コーチ」が選出し、「国体強化委員会」が承認する。
- 「国体強化をサポートするスタッフ（国体会計・練習補佐・活動に関する支援等）」として、公募によりスタッフを選任する。

3. 組織体制について

(1) 「国体強化委員会」組織図



(2) 各チーム監督及びチーム世話役

区分	監督氏名	所属	世話役	役職
総監督	宮田 知	明治大学監督	—	—
成年男子	太山 新一	東京ガス監督	林 正己	東京協会理事（強化）
成年女子	吉田 一男	東京農大女子監督	三宅 正美	東京協会理事（普及）
※少年男子	宮林 聰光	関西大学コーチ	右川 誠治	東京協会理事（強化）
少年女子	濱田 貴子	上智大学女子コーチ	三宅 正美	東京協会理事（普及）

※少年男子監督については、宮林氏に調整中。

以上

【資料2】五輪関連事業一覧

品川区行事一覧(2016年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	指導者	THA	
オリ・パラ課	品川区ホッケー教室	6月25日	13:30～15:30	台場小学校	ホッケー教室	10	2	メトロ東京・小野学園
		7月23日	13:30～15:30	小野学園	ホッケー教室	10	2	メトロ東京・小野学園
		9月24日	13:30～15:30	小野学園	ホッケー教室	10	2	メトロ東京・小野学園
		10月22日	13:30～15:30	しながわ中央公園	ホッケー教室	10	2	メトロ東京・小野学園
		11月12日	未定	大井ふ頭中央海浜公園	ミニゲーム大会	10	2	メトロ東京・小野学園
	ビーチバレーフェスタ	9月18日	11:30～17:00		ホッケー体験	5	1	FH
	大井どんたく祭り	8月27日	12:00～16:30	大井町駅前	ホッケー体験	5	1	メトロ東京
	教育委員会	12月3日	午前中2時間	後地小学校・79名	5～6年生	10	2	
		1月21日	〃	富士見台中学校・70名	8年生	10	2	
		2月4日	〃	清水台小学校・86名	1～6年生	10	1	
		2月18日	〃	中延小学校・67名	3～6年生	10	2	
	3月4日	〃	荏原平塚学園・71名	7年生	10	2		
子ども育成課	ジュニアリーダー教室	9月18日	10:00～12:00 13:00～15:00	しながわ中央公園	ホッケー教室	20	5	メトロ東京・桜杖会
地域活動課	区民祭り	7月16日	15:00～17:00	八潮公園多目的広場	ホッケー体験	5	1	メトロ東京
		7月30日	15:00～17:00	城南小学校	ホッケー体験	5	1	桜杖会・FH
		8月21日	13:00～17:00	品川学園	ホッケー体験	5	1	桜杖会・FH
	青少年対策地区委員会60周年	11月13日	10:00～15:00	しながわ中央公園	ホッケー体験	5	1	メトロ東京
五反田商店街	五反田フェスティバル	7月24日	未定	五反田駅前ロータリー	ホッケー体験	5	1	山中、高木、鈴木、飯田、三橋
	浜川まつり	9月3日	13:00～16:00	浜川中学校	ホッケー体験			
品川区スポーツ協会	スポーツ祭り	10月10日	13:00～16:00	品川体育館	ホッケー体験	5	1	メトロ東京
	ホッケー観戦&体験	11月3日		慶應日吉	試合観戦	5	2	慶応大学女子部員
品川観光協会	品川区観光フェア	10月29日	11:00～17:00	大井町駅前	ホッケー体験	5	1	メトロ東京
		10月30日	11:00～16:00			5	1	メトロ東京

大田区行事一覧(2016年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	指導者	THA	
オリ・パラ推進	区民スポーツまつり	10月10日	10:00～12:30	大田区総合体育館	ホッケー体験	5	1	ざくらジャパン(柴田・大家)+メトロ東京
	ホッケー教室	2月25日	10:00～12:30	西六郷小学校		8	1	藤尾・メトロ東京
		3月11日		池上第二小学校		10	1	藤尾・メトロ東京
仲六郷小学校	仲六郷小学校4年生	11月19日	8:40～10:15	仲六郷小学校	ホッケー体験(44名)	9	1	メトロ東京

品川区行事一覧(2017年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	人数	指導者	THA
オリ・パラ課	品川区ホッケー教室	6月24日	10:00~11:30	台場小学校	ホッケー教室	100	15	2
		7月22日	10:00~11:31	小野学園	ホッケー教室	100	15	2
		9月10日	10:00~11:32	小野学園	ホッケー教室	100	15	2
		10月1日	10:00~11:33	しながわ中央公園	ホッケー教室	100	15	2
		11月11日	13:30~16:00	大井ふ頭中央海浜公園	ミニゲーム大会	100	15	2
	教育委員会	5月20日	午前中2時間	第三日野小学校	4年生	70	10	2
		6月3日	〃	三木小学校	6年生	34	10	2
		6月17日	〃	浜川中学校	9年生	71	10	2
		9月2日	〃	城南小学校	6年生	51	10	2
		10月21日	〃	御殿山小学校	6年生	53	10	2
		12月2日	〃	浅間台小学校	4.5.6年生	70	10	2
		1月10日	〃	日野学園(後期)	8年生	152	10	2
		未定	〃	城南第二小学校	6年生	91	10	2
		未定	〃	第四日野小学校	5.6年生	62	10	2
		未定	〃	第一日野小学校			10	2
		未定	〃	芳水小学校	4年生	70	10	2
		未定	〃	大井第一小学校	5年生	134	10	2
		未定	〃	東海中学校	8年生	117	10	2
		未定	〃	大崎周学校	7年生	85	10	2
		未定	〃	日野学園(前期)			10	2
		未定	〃	伊藤学園(前期)	5年生	81	10	2
		未定	〃	伊藤学園(後期)	8年生	135	10	2

※今年度については、今後予定も増えるものと考えられ、また小中学校からはホッケー体験教室の平日開催の要求が既に来ている。大学生も当たるが、是非マスターズの方にも委員に募集され、指導者・ボランティアとして参加していただきたい。

大田区行事一覧(2017年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	人数	指導者	THA
オリ・パラ推進	子どもガーデンパーティ	4月30日	10:00~15:00	平和島公園野球場	ホッケー体験	200	6	1

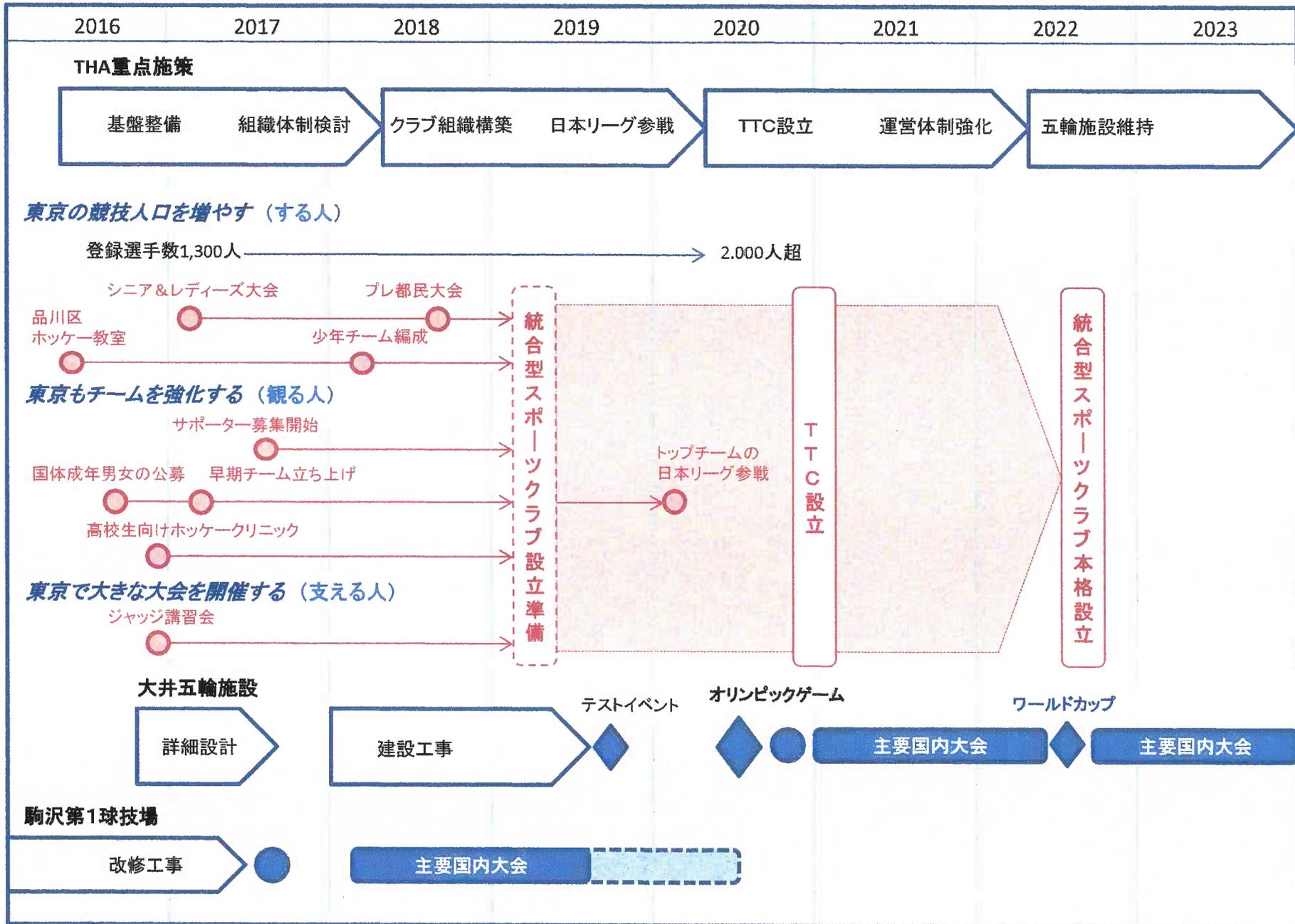
※計画では区民向けに「ホッケー教室」年8回実施する予定

江東区行事一覧(2017年度)

担当セクション	内容	実施日	時間	会場	内容	人数	指導者	THA
江東区	こどもスポーツデー2017	10月7日	10:00~15:00	夢の島競技場	ホッケー体験	200	6	1

THA長期構想(案)

2017/1/25



THAの考え方

ホッケーが欧州では盛んなスポーツであるにもかかわらず、日本でマイナーに留まるのは、グラウンドがないことが大きな原因です。東京五輪2020でグラウンドが増えることは、一般(ジュニア、シニア)のホッケー関係者にとっては何よりもありがたい事です。東京にはホッケー場といういくつかの大学のグラウンドに限られており、一般の方の利用は極めて制限されたものでした。東京は現在でも全国の競技人口の13%を占めますが、グラウンド数の増加によって、競技人口は飛躍的に増加するものと期待しています。東京ホッケー協会(THA)、都体協はじめ、五輪施設が建設される品川区・大田区もジュニア(小・中学生)の育成に熱心取り組んでいます。THAは昨年末にシニア向けの大会を試行し盛況だった事から、今年度からシニア&レディース大会として定期開催を予定しています。THAとしては行く行くは「都民大会」的なものとして、五輪施設でジュニア、シニアの大会が開けることを願っています。

東京にはグラウンドも少ないですが、ホッケー・スタジアムは皆無です。今年、東京五輪1964のホッケー会場であった駒沢第1球技場が改修され、サンドベースですがホッケー用の人工芝が敷設されました。しかし、駒沢第1球技場は多目的グラウンドとして利用される予定と聞いており、ホッケーの使用頻度を高く出来そうにありません。東京で大きな大会、レベルの高い大会を五輪施設で開催し、「する人」に加えて、「観る人」を増やしてゆきたいものです。そのためTHAとしては「観る人」が応援できる強いチームを東京都にも作りたくと計画しています。具体的には、主に東京及び近郊の大学を卒業したトップ選手にJOCの「アスリートナビゲーション」等を利用し東京で就職してもらいます。そしてこれらトップ選手を集合し、都民の代表として「日本リーグ」に参戦したいと考えています。東京ホッケー・トレーニング・センター(TTC)を五輪施設に設立し、トップチームの強化に充てる構想です。ナショナル・トレーニング・センター(NTC)も五輪施設に設置したいとしており、切磋琢磨することによるレベルアップを期待しています。またトップ選手は東京都のジュニアの指導にも積極的に参画し、都民から愛され、応援される存在になってくれるものと信じています。

話が変わりますが、これまでホッケーは国体開催県で、国体後も熱心にホッケーに取り組んだ岩手県・島根県等がリードしてきました。しかし、地方の過疎化・少子化は中学・高校で単独チームを組むのが難しくなっています。他方、少子化とはいいいながら東京は子供も多く、ジュニアホッケー教室を開催すれば大勢の子供達が集まります。しかし前述のようにホッケーが出来るグラウンドが少ない事がネックとなり、継続した練習、チーム作りが困難になっています。東京の大学には強豪校・伝統校も多いのですが、強いチームは地方の高校のトップ選手が入学してきます。高校では全国で1学年1,000人余りがホッケーに取り組んでいますが、大学でホッケーを続けるのはその中のエリート約1割に過ぎません。大学を卒業すると彼等の多くは故郷に戻ってしまい、クラブチームで余暇にホッケーを楽しんでいるのが現状です。東京のホッケー人口の多くは、高校・大学からホッケーを始めた、いわば素人で、ホッケーは大好きですがレベルは高くありません。これからは東京からトップ選手の生まれる環境を作り出してゆかなければなりません。

これらを実現するためには「する人」「観る人」に加えて「支える人」も大切であり、その拡大・充実も図ってゆくつもりです。これらをトータルした組織として「東京ホッケー・クラブ」の創設も視野に入れていきます。ホッケーが英国から伝えられて110年の今日、東京にホッケースタジアムが完成することは、ホッケーの新たなスタートと認識しています。THAとしてもこの機会を逃せば、ホッケーに明日はないという悲壮な決意をもって、ホッケーの普及・発展に尽力してまいります。

東京2020ホッケー競技実施へ向けた取組みの現況

(公社) 日本ホッケー協会
東京2020オリンピックホッケー競技実行委員会
委員長 安西浩哉

実施スケジュール

- テストイベント：2019年7月～8月（夏季に実施）約8日間
- 本大会：2020年7月26日（日）～8月8日（土） 14日間

日程	時間	内容
7/26-8/4	昼間4試合 夜間2試合	男女6チーム×2プールによる予選リーグ
8/5	夜間2試合	女子準決勝
8/6	夜間2試合	男子準決勝
8/7	夜間2試合	女子決勝、三位決定戦
8/8	夜間2試合	男子決勝、三位決定戦

※羽田空港新航路の影響（後述）により試合開始時刻は未決定

【THA】：動員、地域としてのサポート

開催地元の競技統括団体としての活動

観客動員、ボールサーバ等のボランティアスタッフ要請、輩出 等

【JHA】：動員、競技運営サポート、競技役員輩出

- ・東京2020オリンピックホッケー競技実行委員会
 - ✓ 委員長
 - ✓ 副委員長（THAに就任要請予定）
 - ✓ 委員

【組織委員会（略称）】：会場整備、競技実施・運営

- ・ホッケー専従者（約8名→最終的には約200名）
 - ✓ スポーツマネージャー(1名) 2017.06～
 - ✓ アシスタントマネージャー（1名）2018.08～
 - ✓ サービス、設備、運営等コーディネーター(6名)2019.01～
 - ✓ ボランティアスタッフ（約150名）テストイベントおよび本大会時
- ・放映、セキュリティ、輸送、マーケティング、表彰等の関係者（多数）

※ボランティアスタッフは競技スタッフと一般スタッフに区分予定

競技スタッフはTHA,JHAでの育成を要請予定。募集（登録）は2018年予定。

現状の課題（羽田新航路）

- 2020年から運用される羽田空港新航路では、航空機が会場直上を通過するため、騒音等についての影響が懸念される。

- ✓ 会場は滑走路端から約4km
- ✓ 約400m上空を通過
- ✓ 南風時の15時から19時に限ったルート
- ✓ 大阪伊丹空港での類似地点での簡易調査では最大92dB



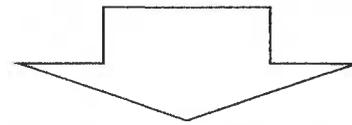
- 騒音だけでなく、航空機の通過による映像や競技機器へのノイズ等の影響も懸念。（IOC見解）
- 騒音自体は競技に大きく影響しないが、観衆、TV視聴者には不快感を与える可能性が高い（組織委スポマネ見解）

【対応策】

15時から19時まで試合を行わない方向で検討。
観客動員、運営オペレーションへの影響を今後確認。

現状の課題（レガシー）

- レガシーとして残す2会場の後利用について東京都と協議中。
 - メイン会場、サブ会場ともホッケーができる施設として残すことをJHAから東京都に要望。
 - 国際ホッケー連盟は、サブ会場の向き（規程では南北方向）について規程外を認める条件としてサブ会場もホッケーができる設備として残すこととし、東京都と確認。
 - 当初東京都は、メイン会場はホッケー専用、サブ会場はホッケーもできる多目的グラウンドとして残す方向としていたが、最近ではメイン会場も多目的とする方向。（後利用時の設備の赤字報道が更に影響か）



ホッケーで2面を高頻度で利用する根拠をJHA,THAに求められている状況。→今年度の実績も東京都から注視されている

駒沢施設でのHJL開催状況は試金石であり、主催者のHJL、JHAと開催地元のTHAの強い協力関係のもと動員、運営、イベントの計画、実行体制を構築させて頂きたい。

今年度駒沢実行委員会の目標・イベント予定

駒沢公園を舞台に東京で大会を運営する力・観客を集める力が問われています。この2点につき、皆さまのご協力を賜りたく、まずは下記イベントへの動員・運営ボランティア参加をどうぞよろしくお願いいたします。

THAが抱える課題

- **駒沢公園第一球技場のホッケー利用再開**
 - ✓ 拠点とするチームが存在せず、**東京協会を主体とした会場運営体制の構築が必要**
- **オリンピックに向けたボランティア確保**
 - ✓ 東京オリンピックを見据え、**ホッケーに携わるボランティアの人数確保が必要**
- **オリンピック後を見据えた観客動員数確保**
 - ✓ オリンピックのホッケー施設維持に向け、都からホッケー競技で年間約8万人の利用要請あり。**フィージビリティの証明なくして、ホッケー場が維持されることはない**

今年度の目標

- **会場運営ノウハウ構築**
 - ✓ 会場運営ノウハウ・スキルを東京協会に蓄積
 - ✓ 特に観客動員力強化を見据え、「大きく」大会を運営するスキルの醸成
- **運営ボランティアの確保**
 - ✓ 駒沢での日本リーグや各種大会の運営を支えるボランティアを募集、継続的に運営活動に携わって頂く
- **観客動員力施策の立上げ**
 - ✓ 2020年までの3年間で主要試合3,000人動員を目指し、動員に向けた施策立案・実行

今年度イベント予定

#	イベント名	開催日	主催者
1	日本リーグ H2最終節(男子)	9/23・9/24	日本リーグ機構
2	体育の日特別記念試合	10/9	東京ホッケー協会
3	早慶戦	11/5	慶応義塾大学・ 早稲田大学
4	日本リーグ決勝(男子)	12/16・12/17	日本リーグ機構
5	実業団リーグ(女子)(仮)	3/16~3/18	東京ホッケー協会

学生リーグや高校選抜予選も含め、2018年3月まで毎月試合が実施されます。これらの試合を選手だけでなく観客や、運営スタッフが精力的に盛り上げていくことが、これからのホッケーのためになります。まずは上記のイベントについてはどうぞ足を運んで頂きたい。
なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。